

徳島の伝統「遊山箱」「阿波和紙」

展示会期：2020年9月17日(木)～10月20日(火)

時間：10:30～18:30

入場料：無料

会場：リビングデザインセンターOZONE 7階
blue²@Tokushima LED∞藍

主催：徳島県 blue²@Tokushima LED∞藍

企画：リビングデザインセンターOZONE（東京ガスコミュニケーションズ株式会社）

問合せ：03-5322-6500（代） 10:30～18:30 水曜日休館（祝日除く）

Make traditional things modern

arrange
charrange
custom
remake

徳島県の伝統文化「遊山箱」「阿波和紙」本展示では「伝統」的な文化を現代風にアレンジした製品を取り上げ、「あわ文化」の魅力をご紹介します。

*遊山箱（工房フローラ）

古来、徳島では桃の節句の頃に子どもたちが「遊山箱」というお弁当箱を提げて野山に遊ぶ風習がありました。こまやかな細工を施した家具・鏡台が作られ、木工職人たちが腕を振るっていました。

懐かしい時代へ想いを馳せながら、郷土の一流職人の手で、遊山箱を美しい工芸品へと仕上げました。古きよきものを世代を超えて遺したい、そんな願いから生まれた遊山箱です。

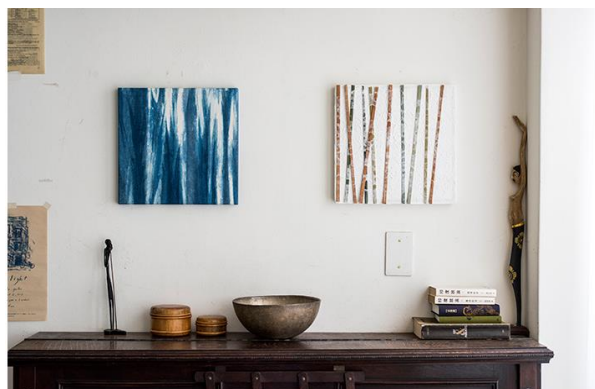
*阿波和紙（アワガミファクトリー）

阿波の紙作りは、8世紀初めに天日鷲命（あめのひわしのみこと）を祭る忌部族が麻植の地（現在の徳島県吉野川市）に入国したときに始まるとされています。

本展示では8代続く和紙メーカーのアワガミファクトリーより、藍染師の藤森美恵子氏とアメリカ人デザイナーのクレイグ・アンセロウィッツ氏がコラボレーションした商品を展示。自然素材や徳島県産の天然色料などを使用した、16種類のアートパネルです。東西のテイストが融合し、伝統的でありながらモダンに仕上がっています。



MIYRI -みゆり- 遊山箱[藍シリーズ]



suaikaアートパネル
アワガミファクトリー



モザイクアートパネル+藍染め
アワガミファクトリー

〒163-1062 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー
リビングデザインセンターOZONE（東京ガスコミュニケーションズ（株））
Tel: 03-5322-6500（代） 10:30～18:30 休館日：水曜日（祝日を除く）

JR 新宿駅南口から徒歩約12分
京王線初台駅から徒歩約8分
小田急線参宮橋駅から徒歩約8分
都営大江戸線都庁前駅から徒歩約8分

Living Design Center OZONE

